

【考え・基礎知識】

様々な情報誌を比較し、効果的な構成や材料の配置、記述の工夫について理解する。目的に応じた取材方法について理解する。

【つながり】

情報誌の分析を参考にしながら、情報誌の構想を練るとともに、自分たちの伝えたい内容に応じた構成や記述の仕方を考える。

【応用・ひろがり】

情報誌作りの学びを生かして、他教科や総合的な学習の時間、または学校生活において、情報発信活動を行う。

- ◇ 学年 第6学年
- ◇ 単元名 町の魅力発信！地域情報誌を作ろう 「ようこそ、私たちの町へ」（光村図書）
- ◇ 単元の目標 地域の魅力を伝える情報誌を作るために取材活動を行い、集めた情報を整理して、効果的な構成や材料の配置を考え、表現方法を工夫して書くことができる。
- ◇ 単元の計画（全11時間）

学習活動	時数	指導上の留意事項
<p><b>課題の設定（2）</b></p> <p>○地域の情報誌を作ることに興味を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の情報誌を発行している方から、作ることで見えてくる地域の新しい一面、新たな人とのつながりなど、情報誌を作ることで生まれる思いを聞き、自分たちも、地域の風景や建築物、商店や人の魅力を伝える情報誌を作って発信することをめあてとして設定する。</li> </ul> <p>○学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌を作るために必要な活動について考え、学習計画を立てる。</li> </ul>	1	<p>★地域の情報誌を作ってみたい、作るのが楽しそう、と思わせるような導入を仕組むことが大切である。左に示したゲストティーチャーの活用以外にも、地域の観光客数の推移のグラフ、「郷土愛」を価値項目とした道德との関係付け等、様々な工夫が考えられる。</p>
<p><b>情報の収集①，整理・分析①（2）</b></p> <p>○様々な情報誌を比較し、特徴の分析を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な情報誌を収集し、それぞれがどのような題材を取り上げ、誰を対象に、どのような写真や資料を活用し、どのような文章構成で書いているのか、また、読み手に分かりやすく伝えるためにどのように書き方を工夫しているか等について分析する。</li> <li>・分析した情報を基に、各グループで、自分たちならどのような題材を取り上げ、誰を対象にどのような情報誌を作りたいか構想を練り、地域の情報誌を発行している方からもアドバイスをいただきながら取材する対象や内容を決める。</li> </ul>	1	<p>○これまでの「書くこと」の学習の想起や、ゲストティーチャーに実際の情報誌作りの活動について語っていただくことを通して学習計画を立てることにつなげさせる。</p>
<p><b>情報の収集②，整理・分析②（4）</b></p> <p>○取材を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループに分かれ、実際に行ったり、写真を撮ったり、話を聞いたりして、目的に応じた情報を収集する。</li> <li>・集めた情報を分類、整理し、伝えたい内容の優先順位を考える。</li> </ul> <p>○構成を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の構成とそれぞれのページの割り付けについて話し合う。</li> </ul>	2	<p>★実社会では、人物に焦点を当てたもの、職業に焦点を当てたものなど、様々な情報誌が作られている。教師が日常的に情報誌等を収集し、図書室にファイリングしておき、それらを活用させるような取組が大切である。</p>
<p><b>まとめ・創造・表現（2）</b></p> <p>○情報誌の記事を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章構成や表現方法を工夫し、個々で情報誌の記事を書く。</li> <li>・書いた記事を読み合い、目的に応じた文章構成や表現になっているかを助言し合うとともに、加筆、修正を行う。</li> </ul>	1	<p>○実際に取材活動を行う際のマナー、事前連絡の仕方、インタビュー方法、メモの取り方などを確認させる。</p>
<p><b>実行、振り返り（1）</b></p> <p>○出来上がった情報誌を交流する。また、取材に協力して下さった方や地域の様々な施設に情報誌を届けるとともに、学習を振り返る。</p>	1	<p>○児童の情報誌の分析を基に、見出しやキャッチコピー、図や写真の組み合わせなど読み手を引き付けるための工夫を再確認させる。</p>
	1	<p>★助言し合わせる際には、どういった目的や相手意識を持って記事を書いたのかを書き手に話させた上で、内容や表現について助言させることが大切である。</p>
	1	<p>★地域の情報誌を発行している方からの評価をいただくとともに、情報誌には、アンケート用紙や学校のメールアドレスを添付し、読んだ方からの反応がもらえるよう工夫しておく。それが更により魅力的な情報誌を作るための新たな視点の発見や意欲の向上につながる。</p>